

ともに生きる

命・生き方

小学校高学年

中学校

高校

社会

公民

総合

学級活動

道徳

課外授業 ようこそ先輩 スペシャル 55分

17歳。戦争を学ぶ 命を考える

(2003年放送)

この番組の良さ



戦争と命について再び問う

1999年、国境なき医師団の貫戸朋子さんは母校の小学6年生を相手に「戦争と命」の授業を行いました。その4年後、高校の2年生になった後輩たちに、貫戸さんは同じテーマをぶつけますが、生徒たちの反応は今ひとつ。「立派な」意見は言えても気持ちがちこもっていません。そんな彼らに失望した貫戸さんは1回目の授業を打ち切り、ある宿題を出します。

もっと魂を入れて

貫戸さんの「もっと魂を入れて」という要求に応え、後輩たちはさまざまな方法で戦争と命について調べ、考えを深めます。貫戸さん自身もかつて働いた戦場であるボスニア・ヘルツェゴビナを再訪し、戦争で家族をなくした元同僚に、「愛する人を殺した相手を許せるか」と問いかけます。

2か月後に行われた2回目の授業、後輩たちはどんな討論を繰り広げるのでしょうか？現代の日本の若者が、想像力の大切さに目覚めていく様子を、番組は描き出します。

番組活用のポイント

戦争のこと、命のことを、わがこととして

21世紀になった現在も、世界では戦争・内戦・テロが絶えることがありません。平和な世界を目指して、私たちは戦争のことを学ぶ必要がありますが、日本で暮らしていると、海外の戦争が対岸の火事のように思えてしまい、他人事となってしまいがちです。若者の多くは「戦争はるか昔あるいは遠い外国のことで、自分たちには直接関係ない」と思っています。戦争のことをわがこととして考えるには、何が大切なのか、この番組を視聴して生徒たちと一緒に考えましょう。そのためには一気に全体を視聴するのではなく、番組を途中で止めて、貫戸さんが後輩に投げかけた「魂を入れ」た話し合いをするためには何が必要なのか、生徒に問いかけるといいでしょう。問題意識をもたせることで、より集中して番組を視聴することができます。

同じテーマで、学級で討議をする

貫戸さんは2回目の授業で「あなたは自分の家族を殺した人を許せるか？」という問いを投げかけます。そのテーマで討議した番組の高校生たちは、想像力を働かせれば働かせるほど、話し合っていることの意味が重くなっていきました。番組視聴後、同じ話し合いを学級でも行いましょう。「魂を入れ」た討議を実際に体験させて、想像力を働かせること、感情移入することの大切さを生徒に教えましょう。その際、番組内の高校生が行ったように、戦争被害を体験した人と交流したり、戦争の当事者と意見を交換したりするなど、発展的な課題として時間をかけて学習するのもいいでしょう。

学習展開例

授業時間 100分



向日市立勝山中学校
教頭 廣川伸一

新着

愛する人を殺されたら許せるか？ 想像力を駆使して、戦争と命を考える

時間配分	学習活動	教師の支援
20分	<p>①国境なき医師団と貫戸朋子さんについて知る。</p> <p>②最初から4分45秒までを視聴する。</p>  <p>視聴 4年前白熱した討論をした子どもたちは今… 2003年</p>	<p>○国境なき医師団は、誰もが医療を受ける権利があるとの理念に基づき、災害地や紛争地で医療援助を行っているNGOであること、日本の医師で最初に参加したのが貫戸さんであることを説明する。</p> <p>○貫戸さんが現場で、命の問題と真剣に向き合ってきたことを押さえる。</p> <p>○4年前に授業を受けたのと同じ子供たちに、再び「戦争と命」のことを問いかけるのが今回の授業であることを確認する。</p>
30分	<p>③視聴しながら考える。</p>  <p>「機械的な知識だけの議論」と貫戸さんは手厳しい</p> <p>④想像力を働かせ、感情移入するには、どうすればいいの か意見を交流する。</p>	<p>○15分45秒の1回目の授業終了の場面で停止する。</p> <p>○貫戸さんが彼らの答えに不満だったのはなぜなのか、問いかける。</p> <p>○「魂を入れる」とはということなのか、問いかける。</p> <p>○テレビや新聞で報じられている戦争や悲惨な状況を自分に引き寄せて考えることの大切さを強調する。</p>
20分	<p>①問題を自分に引き寄せるため、貫戸さんや生徒たちが何を したのかに注目しながら、番組を視聴する。</p>  <p>視聴 家族を殺されたボスニアの若者との交流</p>	<p>○38分30秒で一時停止し、想像力を働かせるために貫戸さんや生徒たちが行ったことを発表させる。</p>
30分	<p>②「自分の家族を殺した人を許せるか」というテーマで討論する。</p> <p>③番組の残りを視聴する。</p> <p>④番組の感想を書く。</p>	<p>○40分00秒で一時停止し、討論に移る。</p> <p>○自分たちの討論との違いや共通点に注目しながら残りを視聴させる。</p> <p>○想像力を駆使して戦争の問題と真剣に向き合う意義を考えさせる。</p>

とくせいのね

コラム 関連した番組の紹介

ティーチャーズ・ライブラリーでは、本番組の4年前の授業を取り上げた『課外授業 ようこそ先輩 戦争を学ぶ 命を考える 国境なき医師団・貫戸朋子』(2014年度版P.43)のDVD貸し出しも行っていきます。小学校の授業の様子を伝える番組なので、小学生にはこちらをお薦めします。

また、ボスニア紛争について深く知りたい場合は、『NHKスペシャル 民族浄化～ユーゴ・情報戦の内幕～』(2010年度版P.52)を見るといいでしょう。ボスニア紛争でどのような非人道的行為が行われたのか知ることができます。